

## 鹿児島バプテスト教会 第?回 大塗装大会

日時：2000年7月16日

PM 12:30 – 5:00

天候：晴天(32 )高湿度



主催： 三位一体の主

活動の種類：会堂大掃除 + 記念堂のペンキ塗り

場所： 鹿児島バプテスト教会

参加者： 元気な若者 & 過激な青年( 中年? )

### 主の平安

2000年7月16日晴れ。絶好の海水浴日より。時に犬も<sup>うたたね</sup>昼寝の正午半。主日礼拝を守った後、永遠の青年者たる60過ぎの面々から年端もいかぬ二十歳そここの若年ばらは、目前の試練に臨んで体慣らしをすべく、かる～く会堂大掃除を始めていた。20世紀最大の発明・クーラーを切ったの作業姿は、まさに蒸し器にごめく酒まんの如し。ワックスだらけの床に足を取られてもがく様はペンギン・ダンスの名がふさわしい。ひとしきり汗をかいたあとの麦茶



は上手かった。時に午後2時、本日のメインイベント、記念堂の外壁塗装が始まった。屈強なる薩摩隼人総勢10名、炎天下の記念堂前に勢ぞろい。とにかくこちらは、心は燃えていても体がついていかない素人集団、ペンキの調合もローラーの持ち方もわきまえぬまま、



無い知恵・力を振り絞っての塗装作業。記念堂が塗り替えられる前に自分の体が塗り替えられていく始末。汗とペンキにまみれていく我らと共に塗り替えられていく記念堂。はしごはもちろん堀や木によじ登っての奮闘3時間、当期の大事業は完了した。各人の流した汗は総計5リットルはくだらない。かくも過酷な重労働に一人



の死傷者も出なかったことは主の憐れみに他ならず。ねがわくは、これら勇士らに一時のまどろみと主からの幸があらんことを。

主にありて。